
君へ.....その後

畠野いよかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君へ……その後

【著者名】

Z4366Z

【作者名】

畠野いよかん

【あらすじ】

薫、美穂子、康之のその後。

極短編です。

俺、柏木薰。

『風薰る季節』に生まれたから、男なのに「薰」なんて名前を付けられた。この名前のせいで、ガキの頃はよくいじめられ、幼なじみの美穂子には「薰ちゃん」なんて呼ばれていた。俺はこの名前が大嫌いだった。

よくいじめられて泣いていたので幼なじみの康之と空手に通い始めた。三日坊主の俺が今でも通っている。我ながらよく続けていたなと関心する。

幼なじみの康之とはよくけんかをした。けんかの原因はたいてい美穂子の事。俺も康之もガキの頃から美穂子の事が好きだった。なかでも中坊の頃にしたけんかはそれはひどいもんだった。最初は冗談まじりの小突き合いだったのが、お互い熱くなり過ぎて加減が出来なくなつて結果、2人とも入院という事態になつてしまつた事がある。もちろん美穂子はけんかの原因は知らない。俺と康之2人だけの秘密にしている。

その後三人同じ高校に入り、俺はちょっと横道に逸れてしまった時も、美穂子は変わらず俺に接してくれた。一年前には仕事中に事故に遭い三ヶ月入院する事があつた時は康之と美穂子には迷惑をかけた。特に美穂子にはすげー世話になつた。

そんなこともあり、俺は美穂子への気持ちが更に高くなつたわけだ。んで、半年前に美穂子と結婚した。

あんなに嫌いだった「薰」と言つ名前。

いまは、美穂子が呼んでくれる「薰ちゃん」という声が心地いい。

あたし岡野美穂子……じゃなかつた。

去年幼なじみの薰ちゃんと結婚して「柏木美穂子」になりました。

薰ちゃんはあたしが小一の時に引っ越して来て以来の幼なじみ。三人はそれから未だにずっと仲良しなんだ。

実は高2の時から短大を卒業するまであたしは康之とつき合つてたの。でも、康之とつき合つていた頃も康之と2人でいるより、薰ちゃんを入れた三人でいる事の方が多かつたかな。

康之はあたしの事を大切にしたいと言つて成人するまで清い仲つて言つたら古いか。エッチはしなかつたの。短大卒業前に康之と結ばれたんだけど、あの時あたしは緊張でかなり震えていて、康之がリードしてくれてうれしかつた。でも、後で聞いたんだけど、あの時康之もかなり緊張していたんだつて。そんな康之が大好きだつたけど、その後別れてしまつた。でもつき合つ前の頃に戻つただけ。その後も康之と薰ちゃんとあたしは三人よく遊んでた。

二年前、薰ちゃんが仕事中に事故に遭い大変だったとき、あたしはおばさんの代わりに薰ちゃんの病院へよく行つてた。退院後しばらくして薰ちゃんにプロポーズされた。あたしは結婚の事で康之に相談しに行つた。薰ちゃんも相談しにいついていたみたい。

結婚後も小さな事でけんかをし康之に相談ばかりしていたあたしだち。ある日、2人揃つて康之に呼び出されて説教された。「夫婦

の問題は夫婦で解決しろ」って。前にも言つたけど康之は怒るとものすごく恐いの。普段はすごく温厚なのにね。薰ちゃんと2人で「康之は二重人格だ」って言つてたんだ。

俺は沢田康之。薰と美穂子とは幼なじみの腐れ縁。

そんな2人はいまや一児の親。今年二才になる長男は薰にそつくりだ。そんな長男に薰達は俺の事を「康之おじちゃん」なんて教えている。

おじちゃん?俺はおじさんでもないし、それにまだ独身だ!

「おじちゃんではなくお兄ちゃんだぞ」と長男に教え込み、そのせいかは知らないが最近しゃべりだした長男が俺を「にいにい」と呼んでくれる。でかした長男!

長女は美穂子に似て可愛らしい。と言つてもまだ生まれて数ヶ月…。将来は美穂子に似て可愛らしく、そしておてんばになるんだろう。気の強いところは似ないよう今から祈つておこう。

『初恋は実らない』そんな事を言う人がいるが、俺も例外ではないが、薰は初恋を実らせた。

そんな俺は、いまつき合つている女性がいる。一つ年上の女性だ。こんな事彼女には言えないが、彼女はどことなく美穂子に似ている。雰囲気か性格か顔か?何処が?と言われたら困るが何となくなので…。

まあ、この話は今度ゆつくり。では。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4366n/>

君へ.....その後

2010年10月9日10時23分発行